

新総合事務所棟で竣工式



3日分)を備える。屋上には40キワットのソーラーパネルを設置し、事務所棟で使用する電力の75%を

太陽光発電で賄うことができる。神事の後、施主を代表して角掛繁社長があいさ



新しい総合事務所棟(左)から3人目が角掛社長

つ。「業績の厳しい時期もあったが、皆さまに支えられて、売り上げは順調に伸長し、将来の事業拡大を目指して新しい事務所の竣工に至った。これからも地域と共生しながら歩みを進める」と感謝を述べた。

継ぐ必要がある。日本重化学工業の次の100年を思い描きながら一歩一歩進んでいきたい」と話した。

来賓祝辞では、舟根秀也・富山県理事・商工労働部次長と出町讓・高岡市長がそれぞれ祝辞を述べた。

続いて、「新事務所は当社のこれまでの歴史を継承しつつ、次の100年に向けた拠点だ。変化の激しい現代で、われわれは先輩から引き継いだバトンを後世につなぐだけでなく、新しいレールを敷き、次の世代へと引き

同社は1917年に富山県伏木町(現高岡市)に設立された北海道電化工業にルーツを持つ。高岡事業所は合金鉄、活性化二酸化マンガソ、鋳鋼品、水素吸蔵合金の製造などを行う日本重化学工業の主力工場の一つ。